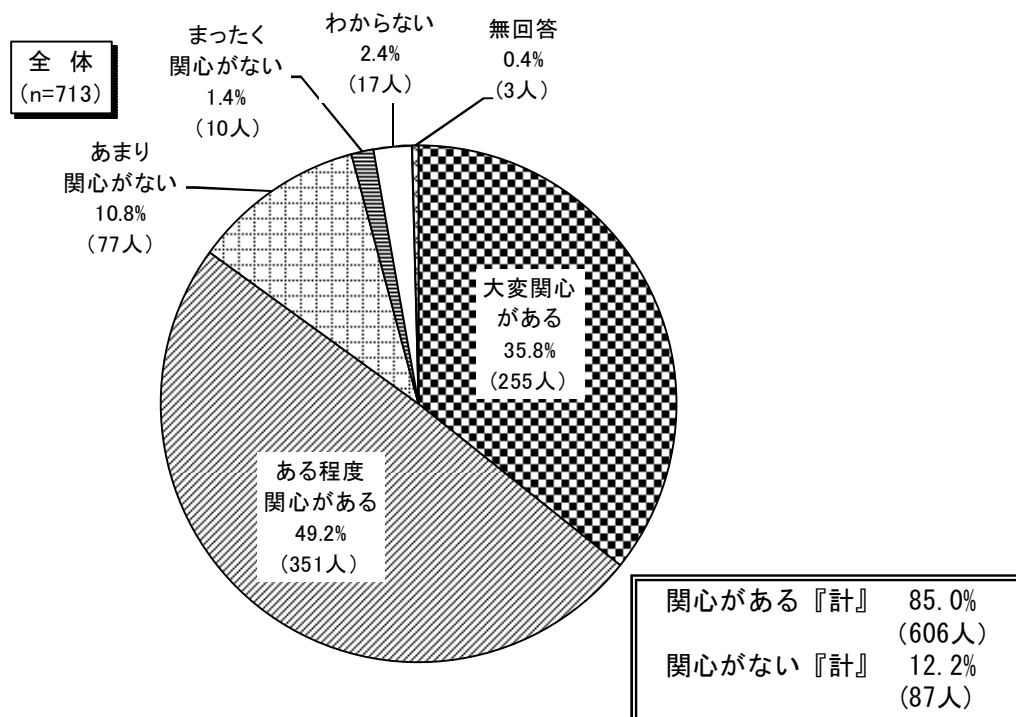


2. 心の健康について

(1) 心の健康への関心の有無

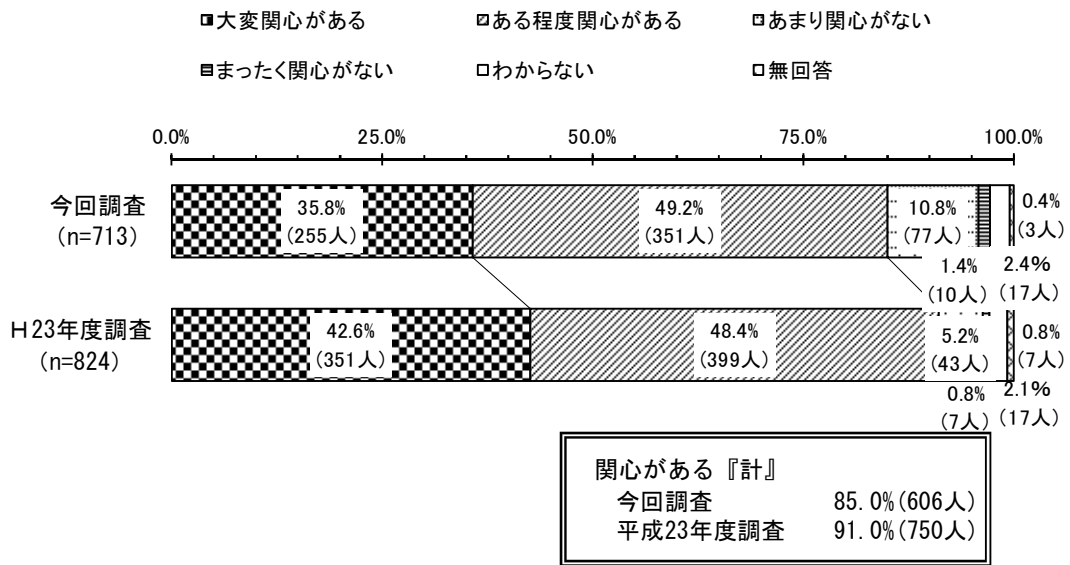
問6 あなたは心の健康について関心がありますか。
あてはまるもの1つに○をつけてください。



心の健康に「大変関心がある」と回答した人は 35.8%で、これに「ある程度関心がある」(49.2%)を合わせた『関心がある』計の割合は 85.0%となっている。

一方、「まったく関心がない」は 1.4%で、これに「あまり関心がない」(10.8%)を合わせた『関心がない』計の割合は 12.2%となっている。

【参考 平成 23 年度調査との比較】

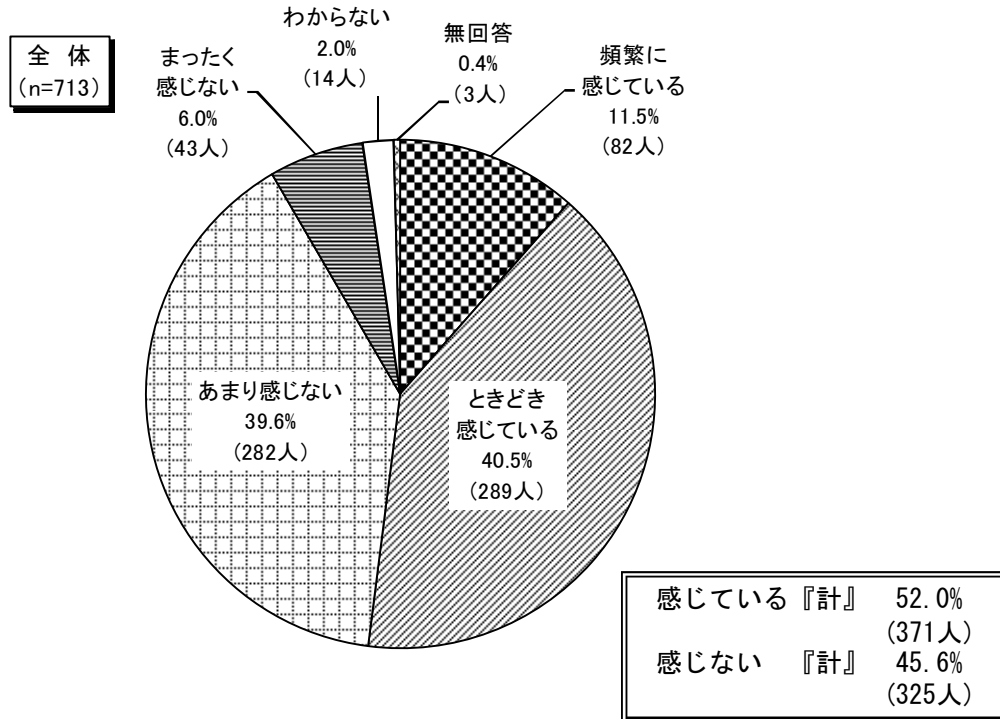


『関心がある』計（今回調査 85.0%、平成 23 年度調査 91.0%）の割合は、今回調査の方が減少している。

(2) 精神的な疲労の認識

問7 ふだん、気分が落ち込む、あるいは精神的に疲れていると感じることがありますか。

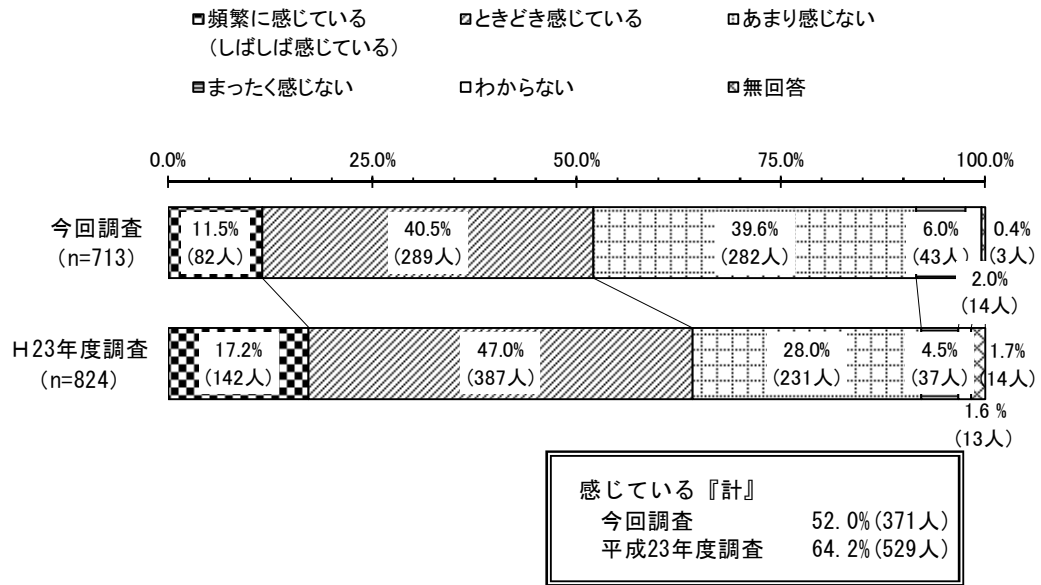
あてはまるもの1つに○をつけてください。



気分の落ち込みや精神的な疲労を「頻繁に感じている」と回答した人は 11.5%で、これに「ときどき感じている」(40.5%)を合わせた『感じている』計の割合は 52.0%となっている。

一方、「まったく感じない」は 6.0%で、これに「あまり感じない」(39.6%)を合わせた『感じない』計の割合は 45.6%となっている。

【参考 平成 23 年度調査との比較】



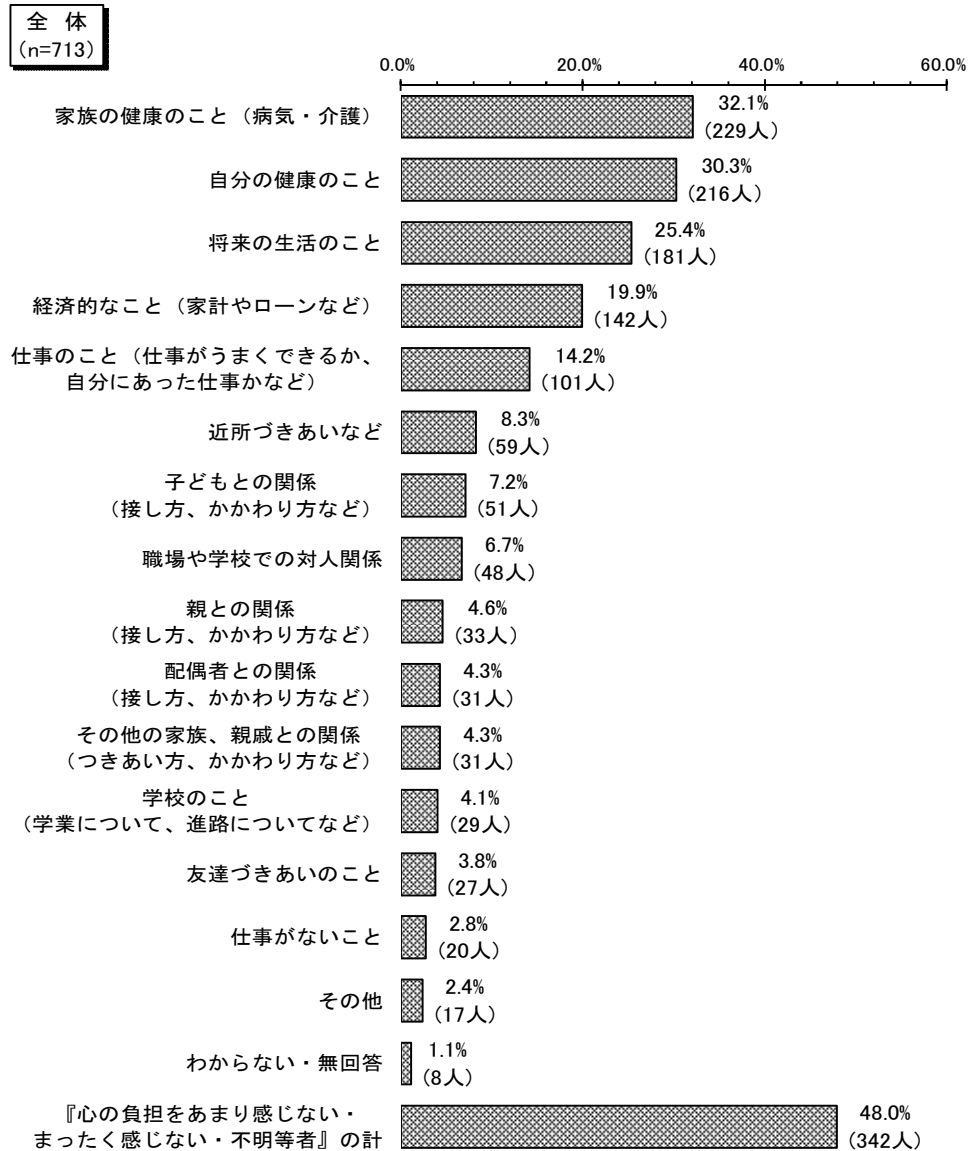
『感じている』計（今回調査 52.0%、平成 23 年度調査 64.2%）の割合は、今回調査の方が減少している。

(3) 心の負担になっていること

(問7で、「1 頻繁に感じている」、または「2 ときどき感じている」とお答えの方にお尋ねします。)

問7-1 主にどのようなことが心の負担になりますか。

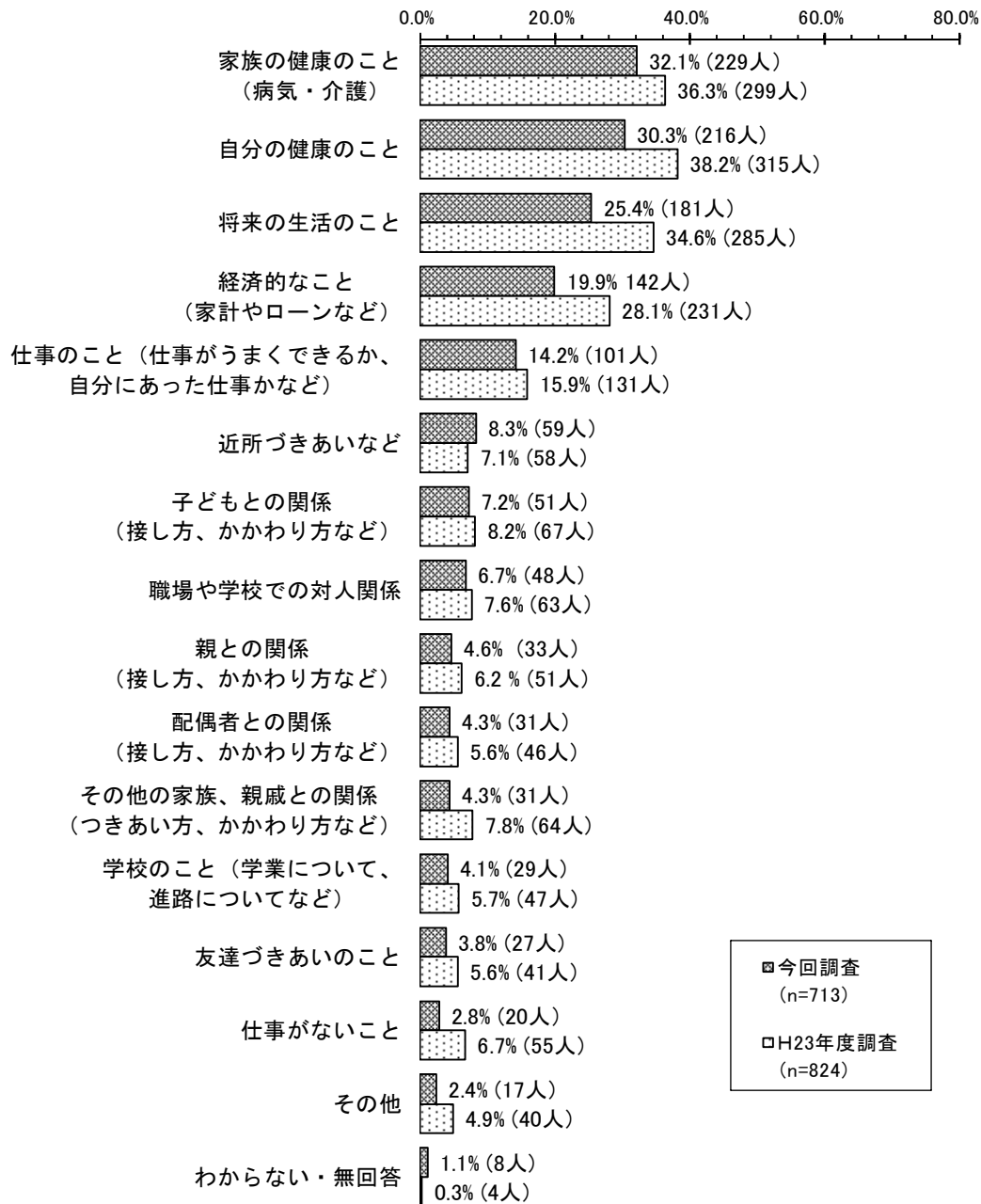
あてはまるものに、いくつでも○をつけてください。(複数回答可)



心の負担になることは、「家族の健康のこと (病気、介護)」(32.1%) が最も多く3割強となっている。以下、「自分の健康のこと」(30.3%) が同じく3割台、「将来の生活のこと」(25.4%) が2割台、「経済的なこと (家計やローンなど)」(19.9%) が約2割、「仕事のこと (仕事がうまくできるか、自分にあった仕事かなど)」(14.2%) が1割台などとなっている。

一方、『心の負担をあまり感じない・まったく感じない・不明等者』の計の割合は48.0%となっている。

【参考 平成 23 年度調査との比較】



どのようなことが県民に心の負担として感じられているかについて示した。

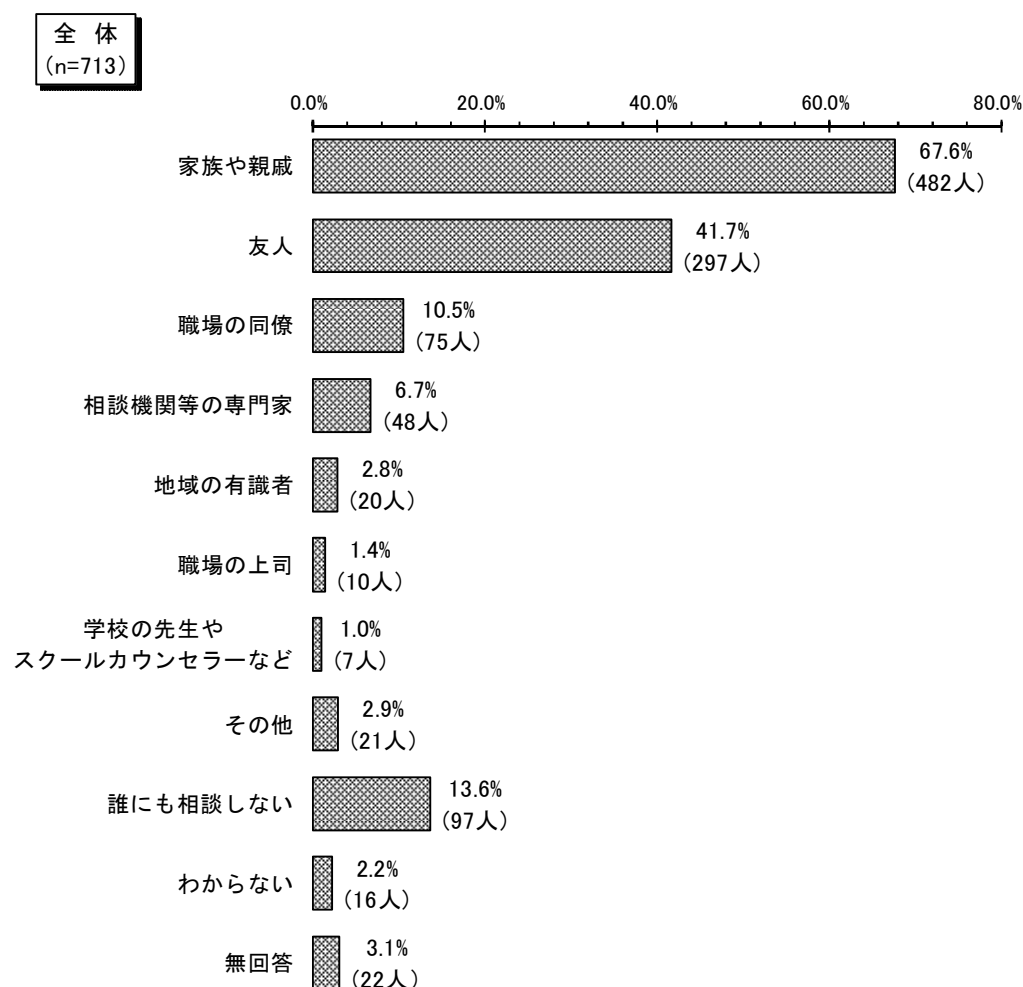
平成 23 年度調査と比べて、『心の負担を頻繁に感じる・ときどき感じる』と回答した割合が低下したことを反映し、「近所づきあいなど」以外はすべて低下した。

低下幅が大きかったのは「自分の健康のこと」「将来の生活のこと」「経済的なこと」で、いずれも 5 ポイント以上低下した。

低下率が大きかったのは「仕事がないこと」「その他の家族、親せきとの関係」で、いずれも平成 23 年度比で 40%以上低下した。

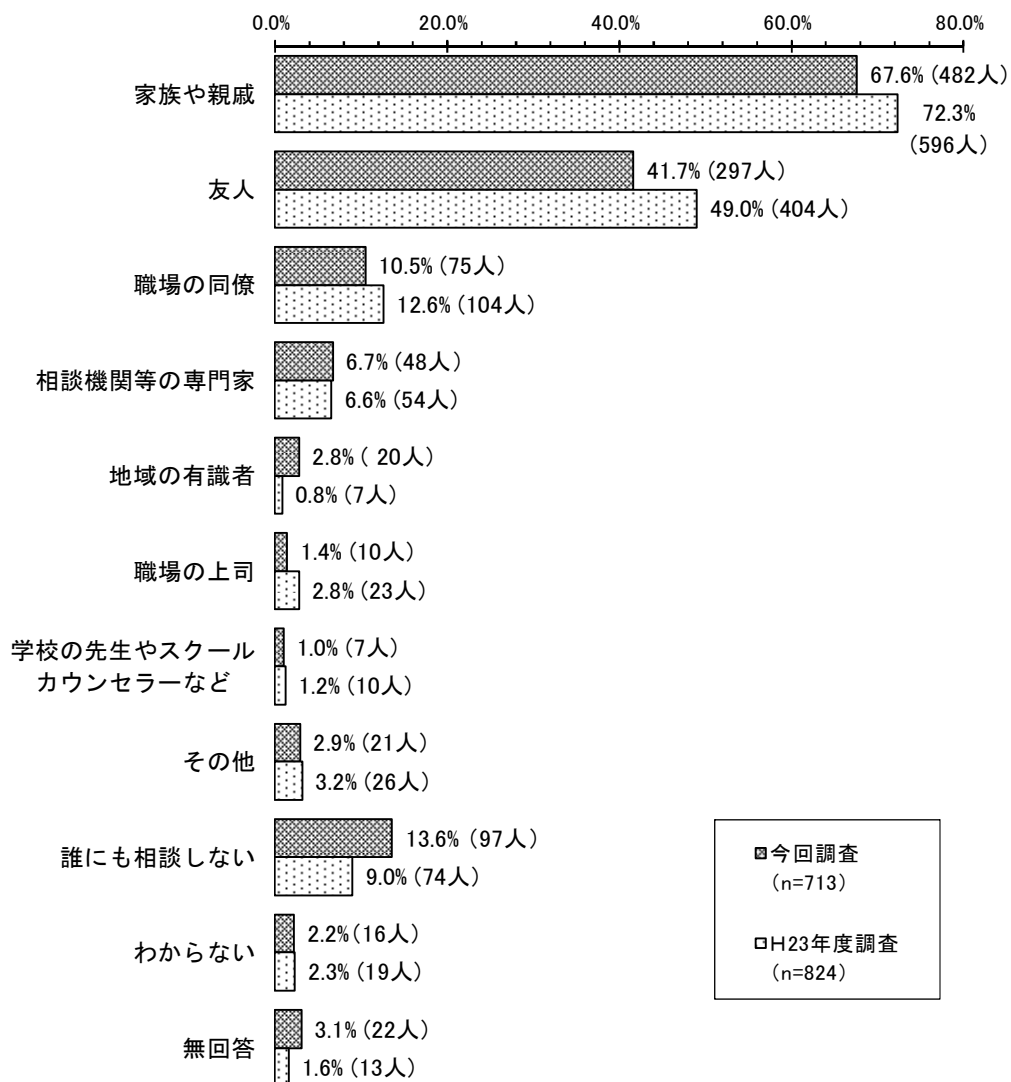
(4) 心の健康についての相談先

問8 心の健康について心配なことがある時、あなたは誰に相談しますか。
あてはまるものに、いくつでも○をつけてください。(複数回答可)



心の健康の相談先は「家族や親戚」(67.6%)が最も多く、7割弱となっている。以下、「友人」(41.7%)が4割台、「職場の同僚」(10.5%)が1割台となっている。一方、「誰にも相談しない」が13.6%、「わからない」が2.2%となっている。

【参考 平成 23 年度調査との比較】

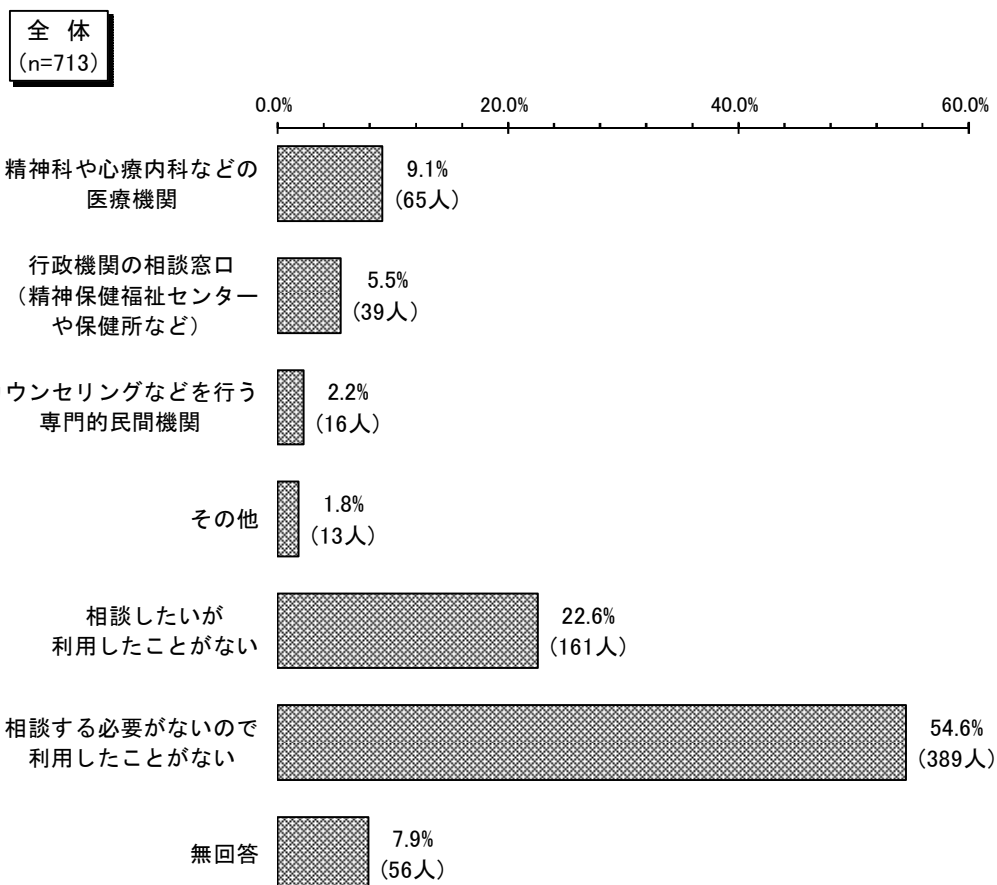


今回調査では平成 23 年度調査と同様の傾向が見られるが、「友人」の割合は、平成 23 年度調査に比べて 5 ポイント以上減少している。

(5) 利用したことのある相談機関

問9 心の健康について相談するため、どのような相談機関を利用したことがありますか。

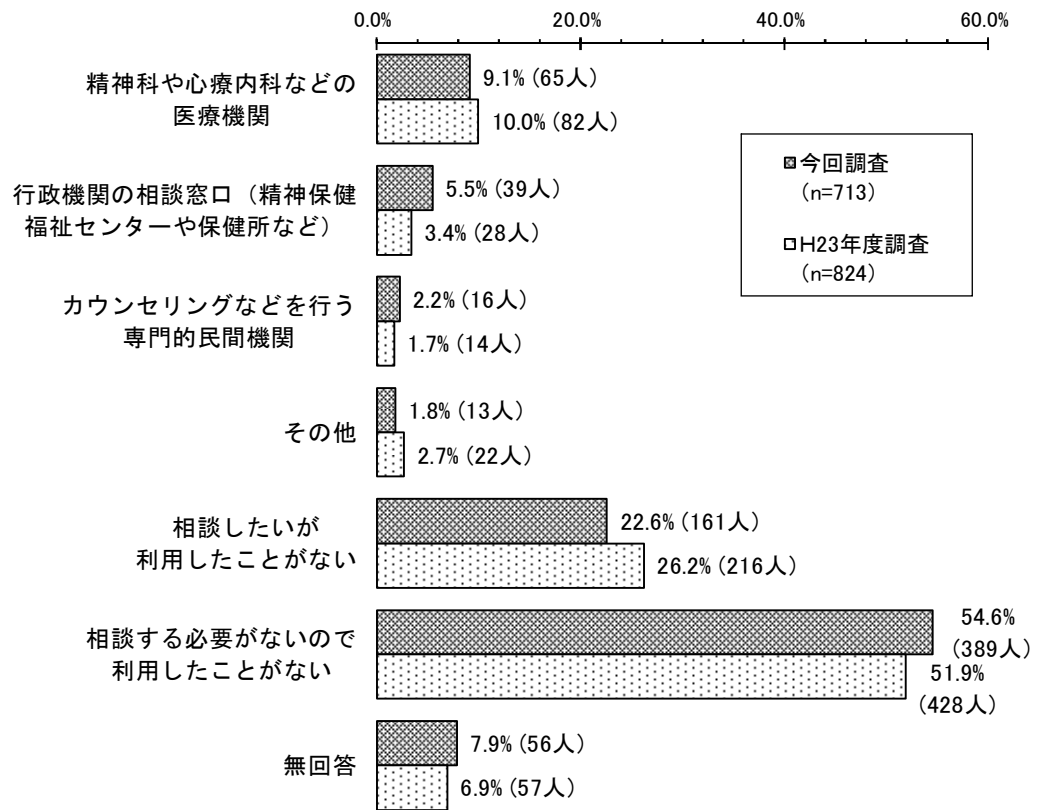
あてはまるものに、いくつでも○をつけてください。(複数回答可)



利用したことのある相談機関については、「相談する必要がないので利用したことがない」(54.6%)が最も多く5割を超えている。次いで、「相談したいが利用したことがない」(22.6%)の順となっている。

一方、利用したことのある相談機関で回答が最も多かったものは、「精神科や心療内科などの医療機関」の9.1%となっている。

【参考 平成 23 年度調査との比較】



今回調査では平成 23 年度調査と同様の傾向が見られる。